

PicoManager ハイブリッド版のサービス利用規約

第1章 総則

第1条(本規約の目的)

本規約は、提供区域(以下第4条に定義します。)において PicoCELA 株式会社(以下「当社」といいます。)の提供する物理サーバーによるオンプレミス環境やお客様独自のクラウド環境で運用できる当社のソフトウェア PicoManager ハイブリッド版(以下「本ソフトウェア」といいます。)及び本ソフトウェアに関するサービス(以下「本サービス」といいます。)の利用条件等について定めるものとします。当社は、自ら直接又は本販売店(以下第4条に定義します。)を通して、お客様(以下第4条に定義します。)に対し、本サービスを提供します。

第2条(本規約の適用)

1. 当社は、本規約に定める条件に従って、本サービスの提供を行い、お客様は、本規約に定める条件に従って、これを利用するものとします。
2. 当社が本サービスに関連して個別の規約(以下「個別規約」といいます。)を定めた場合、個別規約は本規約と一体となって適用されるものとします。個別規約の内容と本規約の内容が矛盾、抵触、異なる場合には、個別規約が本規約に優先するものとします。
3. 本規約と、当社とお客様との間のその他契約(個別規約を除く。)が矛盾、抵触、異なることを定める等した場合、本規約が優先するものとします。

第3条(本規約の変更)

1. 当社は、本規約の各条項その他の条件について、お客様の事前の承諾を得ることなく、当社が合理的と判断する予告期間を設けた上、当社所定のウェブページへの掲載による公表その他相当の方法により本規約を変更する旨及び変更後の本規約の内容並びにその効力発生時期をお客様に周知することにより、本規約を随時変更できるものとします。
2. 前項の変更は、前項の公表等の際に定める効力発生時期から適用されるものとします。

第4条(用語の定義)

本規約においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) 利用契約: 本規約及び申込書に基づきお客様との間で締結される契約
- (2) お客様: 本サービスの提供を受ける企業・団体等
- (3) ユーザー: 当社機器を無線で接続し、本サービスを利用する者
- (4) ユーザーID: お客様又はお客様が指定するユーザーを識別するために用いる符号
- (5) 本販売店: お客様が本サービス利用の申込みを行った販売店
- (6) アカウント: 本サービスを利用するために登録されるユーザー情報
- (7) 提供区域: 当社がお客様に対し、本サービスを提供する区域

第2章 サービス

第5条(サービス内容及び利用範囲)

1. 本サービスは、企業・団体等に対して、当社製品が導入されている機器及びモジュールに対してメンテナンスを実施すること、本サービスの機能本サービスから提供される情報を利用できるサービスを提供することを目的とし、本ソフトウェアにより提供されるサービスです。
2. 本サービスの利用には、アカウントが必要です。
3. 当社は、本サービスの機能追加及び改善を目的として、本サービスの一部の変更を行う場合があります。但し、変更によって、変更前の本サービスのすべての機能が維持されることを保証するものではありません。

第6条(サービスの利用)

1. お客様は、本規約に同意の上、第2項から第4項に従い、本サービスを利用することができます。
2. 本サービスは、当社が登録を認める場合にはアカウントが発行されます。
3. 本サービスの利用を開始するにあたり、当社機器に直接アクセスして本サービスとの接続を行うための設定を行う必要があります。
4. 当社は、利用申込者が以下の各号のいずれかの事由に該当する場合は、利用を拒否することがあります。また、その理由について、当

社は一切開示義務を負わないものとします。

- (1) 当社に提供した登録事項の全部又は一部につき虚偽、誤記又は記載漏れがあった場合
- (2) 本サービスと類似・競合するサービス若しくはウェブサイトを運営している又はその運営に協力していると当社が判断した場合
- (3) 第 32 条(反社会的勢力の排除)第 1 項第 1 号に定める暴力団員等であると当社が判断した場合
- (4) 過去に当社との契約に違反した者又はその関係者であると当社が判断した場合
- (5) 第 21 条(禁止行為)各号に掲げる行為を行ったことがあるか又は行うおそれがあると当社が判断した場合
- (6) その他、当社が登録を適当でないと判断した場合

第 7 条(サポート)

1. 本サービスに対する当社のサポートサービス(以下「サポートサービス」といいます。)は有料です。
2. サポートサービスは当社が設置するヘルプデスク窓口からのみ受け付けるものとします。
3. サポートサービスは当社が提供する本ソフトウェアのみが対象で、その他の OS や付随するソフトウェアなどは対象外とします。
4. サービスはお客様の問題を必ずしも解決することは保証致しません。

第 8 条(利用制限)

1. 本サービスは、お客様自身の業務での利用を目的として提供されるものであり、当該目的以外の商業目的で 使用(第三者に対し有償と無償の別に関わらず)するときは、その目的等を当社に連絡し、事前の承諾を得るものとします。
2. お客様は、本サービスをお客様の役員又は従業員(お客様の業務実施地域内でお客様の職務に従事するものを含む。)に対してのみ使用させることができるものとし、その他の第三者に対して使用させることはできません。
3. お客様は、ユーザーに対し、本規約に定める条件を周知し、これに従わせるものとします。
4. 本サービスは当社機器のレンタルサービスとの併用はできません。個別でのレンタル契約が必要になります。

第 9 条(ユーザーID 及びパスワード)

1. ユーザーID 及びパスワードは、当社が定める方法及び使用条件に基づいて付与されるものとします。
2. お客様は、自らの管理責任により、ユーザーのユーザーID 及びパスワードを不正使用されないよう厳格に管理するものとします。
3. お客様は、いかなる場合も、ユーザーID を第三者に開示、貸与することはできません。
4. 当社は、ユーザーID 及びパスワードの不正利用によってお客様に生じた責任を負いません。当社は、ユーザーID 及びパスワードの一致によって認証を行った後に行われた本サービスの利用行為については、すべてお客様に帰属するものとみなすことができます。

第 10 条(情報等の保管及び消去)

お客様は、本サービスの利用に関連して入力、提供又は伝送するデータ等について、必要な情報は自己の責任で保全しておくものとします。

第 11 条(データの利用)

1. 当社は、機器から収集されるデータ、登録されたデータその他のお客様及びユーザーに関するデータ(但し、個人データに該当するものを除きます。)を、本サービスを含む当社が提供し又は提供しようとしているサービスの品質向上、これらのサービスに関するお客様へのご案内、その他当社がプライバシーポリシーに定める目的で利用することができるものとします。
2. 当社は、統計データの作成・分析を行う目的で、本サービスの利用状況又はお客様及びユーザーの状況、その他の顧客情報を収集・分析し、それにより作成した統計データ又は統計データの分析結果を、お客様に提供又は一般に公表することがあります。但し、個々のお客様及びユーザーが識別されることのないようにいたします。
3. 当社は、お客様から本サービスの利用情報を取得し、又はお客様に対して本サービスに関するフィードバックの提供を求める場合があります。お客様は、これらの利用情報又はフィードバックの内容につき、本サービス契約期間中及び本サービス契約終了後において当社が利用することに同意するものとします。但し、これらの利用情報又はフィードバックの内容の利用の目的は、本サービスの運営、改善、プロモーション及び新サービスの開発に限定されます。

第 12 条(解約)

1. お客様は、当社所定の方法で当社に通知することにより、本サービス契約を解約し、お客様としての登録を抹消できます。
2. 解約後の個人情報の取り扱いについては、第 23 条(個人情報の管理)の規定に従うものとします。

第 13 条(本サービスの停止)

1. 当社は、定時に又は必要に応じて、保守作業のために、本サービスを一時的に停止することができるものとします。当社は、保守作業を行う場合には、事前にお客様に対してその旨を通知するものとします。

2. 当社は以下のいずれかに該当する場合には、お客様に事前に通知することなく、本サービスの全部又は一部の提供を停止できるものとします。
 - (1) コンピューター又は通信回線等が事故により停止した場合
 - (2) 地震、落雷、火災、風水害、停電、疾病の蔓延、天災地変等の不可抗力により本サービスの運営ができなくなった場合
 - (3) その他、当社が停止を必要と判断した場合
3. 当社は、本条に基づいてなされた本サービスの停止によってお客様に生じた不利益、損害について責任を負いません。

第14条(本サービスの変更及び廃止)

1. 当社は、本サービスの一部又は全部を何時でも変更又は廃止できる権利を有します。
2. 本サービスの一部又は全部を廃止する場合、お客様に対して当社は事前に通知を行います。但し、本サービスの全部を廃止する場合には、3か月以上前に通知するものとします。通知方法は当社が選択し、通知の発信によりその効力が生ずるものとします。
3. 本条に定める手続に従って通知がなされたときは、当社は本サービスの廃止の結果について、何ら責任を負いません。

第3章 利用料金

第15条(本サービスの利用料金)

本サービスの利用料金は別途定める価格表のとおりです。

第16条(利用料金の支払義務)

1. お客様は、利用契約が成立した日から起算して利用契約の終了日までの期間(以下「利用期間」。)について、前条に定める利用料金及びこれにかかる消費税等を利用契約等に基づき支払うものとします。
2. 利用期間において、本サービスの提供の停止、中止その他の事由により本サービスを利用することができない状態が生じたときであっても、お客様は、利用期間中の利用料金及びこれにかかる消費税等の支払を要します。
3. 本サービスの利用が可能な状況であっても、お客様は、利用期間以降の利用は禁止しており、いかなるサポート(サポートサービスを含む。)も受けられないものとします。また、利用期間以降の利用に関しては、第18条(遅延利息)に基づき利用料金及び遅延利息に基づき支払うものとします。
4. 当社は、お客様が支払った利用料金を、いかなる事由によっても、返還しないものとします。

第17条(利用料金の支払方法)

お客様は、本サービスの利用料金及びこれにかかる消費税等を、当社又は本販売店からの請求書に従い当月末締翌月末までに全額を当社又は本販売店が指定する金融機関に支払うものとします。なお、支払いに必要な振込手数料その他の費用は、お客様の負担とします。

第18条(遅延利息)

お客様が、本サービスの利用料金の支払いを所定の支払期日が過ぎてもなお履行しない場合、及び利用契約の更新なく利用期間を超えて利用した期間がある場合、お客様は、所定の支払期日の翌日から支払日の前日までの日数に、年14.6%の利率で計算した金額を延滞利息として、本サービスの利用料金その他の債務と一括して、当社又は本販売店が指定する期日までに当社又は本販売店の指定する方法により支払うものとします。

第4章 お客様の義務等

第19条(自己責任の原則)

1. お客様は、本サービスの利用並びに本サービス内における一切の行為(情報の登録、閲覧、削除、送信等)及びその結果について、一切の責任を負います。
2. お客様は、本サービスの利用に伴い、自己の責に帰すべき事由で第三者に対して損害を与えた場合、又は第三者からクレーム等の主張がなされた場合、自己の責任と費用をもって処理、解決するものとします。
3. お客様は、お客様がその故意又は過失により当社に損害を与えた場合、当社に対して、当該損害の賠償を行うものとします。

第20条(担当者の設置)

1. お客様は、本サービス利用に関して担当者を定め、当社への連絡等は、担当者を通じて行うことを原則とします。
2. お客様は、担当者に変更が生じた場合は、当社に対し速やかに通知するものとします。
3. お客様は、担当者をして、本規約の遵守を管理監督させるものとし、担当者の意思表示、通知、その他一切の行為について、お客様としての責任を負います。

第21条(禁止行為)

お客様は、本サービスを利用するにあたり、以下の行為又はそのおそれがある行為を行わないものとします。

- (1) 法令に違反する行為
- (2) 公序良俗に反する行為
- (3) 他のお客様の利用を妨害する行為
- (4) 当社又は第三者の知的財産権その他の権利を侵害する行為
- (5) 本サービス若しくはアカウントへの不正アクセス行為、クラッキング行為及びアタック行為又は当社若しくは第三者の運用するコンピューターその他設備等に支障を与える等の行為
- (6) コンピューターウイルスその他の有害なコンピュータープログラムを含む情報により支障を与える等の行為
- (7) 本サービス又はアカウントの提供を妨害する行為
- (8) 本サービスの解析、リバースエンジニアリングその他のソースコードを入手しようとする行為
- (9) 他人のユーザーIDを使用する行為又はその入手を試みる行為
- (10) 他のお客様のデータを閲覧、変更及び改竄する行為
- (11) 当社、他のお客様若しくはユーザー又はその他の第三者に不利益、損害及び不快感を与える行為
- (12) 反社会的勢力等への利益供与行為
- (13) 前各号の行為を直接又は間接に惹起し、又は容易にする行為
- (14) その他、当社が不適切と判断する行為

第5章 当社の義務等

第22条(顧客情報の管理)

1. 当社は、本規約に別段の定めがある場合を除き、本サービスの提供に伴って知り得たお客様の業務情報、ユーザーの個人情報、及びその他の関連する情報（以下「顧客情報」といいます。）を本サービス提供の目的以外で利用しないものとします。また、当社は、顧客情報を、紛失・破壊・改竄・漏洩等の危険から保護するための合理的な安全保護措置を施し、厳重に管理するものとします。
2. 業務情報とは、本サービスでデータとして登録された情報のうち、業務に関する情報に係ると考えられる重要情報をいうものとします。

第23条(個人情報の管理)

1. 当社は、顧客情報にユーザーの個人情報が含まれていた場合、個人情報保護法その他の関連法令を遵守するものとします。なお、当社における個人情報の取り扱いについては、別途定める当社プライバシーポリシー (<http://www.picocela.com/about/privacy.html>) によるものとします。
2. 本条の規定は、本サービス終了後も有効に存続するものとします。

第24条(保証の制限)

1. 当社は、本サービスが、重要な点において、実質的に正常に提供されることを保証します。
2. 当社は、本サービスにバグ等の瑕疵のないことや、本サービスがお客様の特定の利用目的に合致することを保証するものではありません。また、当社は、他のソフトウェア等が使用しないし併用された場合、本サービスの正常な動作を保証するものではありません。
3. 本サービスに関する当社の責任は、本サービスに重要な瑕疵が認められた場合に、改訂版等を提供するに際し、商業的に合理的な範囲内において、その修正ないし瑕疵の除去の努力をすることに限られるものとします。
4. 本条は、本サービスに関する唯一の保証について述べたものです。

第25条(本サービス等の改訂)

当社は、当社の裁量により本サービスのバージョンアップを行う場合があります。

第 26 条(侵害の場合の責任)

本サービスの利用に関して、第三者からお客様に対して知的財産に係わるクレーム、その他の請求が発生した場合、お客様は直ちに当社に書面で通知するものとし、当社はその責任と負担においてかかるクレーム等を処理するものとします。但し、かかるクレーム等の発生がお客様自身の責めに帰すべき事由に基づく場合及びお客様が当社にクレーム等の発生を速やかに通知しない等の事由により当社が適切な防御を行う機会を逸することになった場合は、この限りではありません。

第 27 条(委託)

当社は本サービスの提供に関する業務の全部若しくは一部をお客様の承諾なしに、第三者に委託することができます。但し、その場合、当社は責任をもって委託先を管理するものとします。

第6章 損害賠償

第 28 条(免責及び損害賠償の制限)

1. 当社又は本販売店は、本規約の各条項に従って制限された限度においてのみ、本サービスについての責任を負うものとします。当社は、本規約の各条項において保証しないとされている事項、責任を負わないとされている事項、お客様の責任とされている事項については、一切の責任を負いません。
2. 当社又は本販売店の責めに帰すべき事由によって本サービスに関してお客様に損害が生じた場合であっても、当社又は本販売店に故意又は重過失がある場合を除き、その賠償責任は、お客様が当社又は本販売店に過去 1 年間に支払った利用料金の総額の半額を超えないものとします。
3. 当社又は本販売店が責任を負う場合であっても、お客様の事業機会の損失その他の逸失利益、データ滅失・損壊によって生じた損害は、契約責任、不法行為責任その他請求の原因を問わず、当社に故意又は重過失がある場合を除き、いかなる法的責任も負いません。

第 29 条(顧客情報の漏洩による損害の賠償)

1. 当社は、顧客情報の漏洩によってお客様に損害が発生した場合、かかる損害を賠償するものとします。
2. 当社は、顧客情報を含む情報等が破損、滅失、漏洩したことによる損害について、お客様以外の第三者がお客様に対し損害賠償の請求又は訴訟提起をした場合、当社はお客様に対し和解契約の締結又は判決の確定等によりお客様がかかる第三者に対し、金銭を支払う等解決方法が確定したのちに、お客様がこれにより負担した損害賠償金を支払うものとします。

第 30 条(不可抗力)

当社は、天災、法令、官公庁による指導、その他の不可抗力によって本サービスの履行が妨げられた場合には、本規約の他の一切の規定に関わらず、かかる不可抗力によってお客様に生じた損害について一切の責任を負担しません。

第7章 雑則

第 31 条(知的財産権)

1. お客様は、本サービスに関する著作権等の一切の知的財産権、その他の有形・無形の権利及び情報(ソフトウェアプログラム、データベース、アイコン、画像、文章、マニュアル等の関連ドキュメント等の印刷物等を含みます)が、当社又は当社に 権利を許諾した第三者に帰属する重要な財産(以下「本件知的財産」といいます。)であり、お客様が本件知的財産について何らの 権利も有しないことを理解し、承認します。
2. お客様は、本件知的財産を、善良な管理者の注意義務をもって管理するものとし、当社が管理上必要ないし適切と判断した指示に従うものとします。お客様は、自らあるいは他の者をして、本サービスの全部又は一部について、複製し、公衆送信し、貸与し、複製物を頒布し、修正、翻訳、翻案し、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングその他の方法によりソース コードの探知を試み、又は、本サービスのデータベース構造の解析、探知を試みることはできません。

第 32 条(反社会的勢力の排除)

1. お客様は、当社に対し、以下の事実がないことを表明し、保証するものとします。
 - (1) 自己及びそれらの役員が、次のいずれかに該当すること
 - (7) 暴力団
 - (4) 暴力団員

- (g) 暴力団準構成員
 - (e) 暴力団関連企業
 - (f) 総会屋、社会運動等標榜ゴロ又は特殊知能暴力集団等
 - (h) その他上記(f)から(g)に準ずる者
- (2) 自己及びそれらの役員が、自己又は第三者を利用して、以下のいずれかの行為をしたことがあること
- (f) 暴力的な要求行為
 - (i) 法的責任を超えた不当な要求
 - (g) 取引に関し、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - (e) 風説を流布し、偽計を用いて相手方の信用を毀損し、又は相手方の業務を妨害する行為
 - (h) その他上記(f)から(e)に準ずる行為
2. 当社は、お客様が前項各号の一に該当し、本サービスの提供を維持することが不適切である場合には、本サービスの提供の全部を停止又は中止することができるものとします。
 3. 当社は、前項の規定により本サービスの提供を停止又は中止した場合、お客様に損害が生じても、これを賠償する責を負わないものとします。
 4. 当社が第2項の規定により本サービスの提供を停止又は中止した結果、自身に損害が生じた場合には、お客様に対して損害賠償を請求することができるものとします。

第 33 条(分離可能性)

本規約のいずれかの条項の全部又は一部が法令等により無効又は執行不能と判断された場合であっても、本規約における残りの条項、及び条項の一部が無効又は執行不能と判断された場合の当該条項の残りの部分は、継続して完全に効力を有するものとします。

第 34 条(協議)

本規約の解釈について両当事者間に異議、疑義が生じた場合、又は本規約に定めのない事項が生じた場合、誠実に協議し、円満にその解決を図るものとします。

第 35 条(準拠法及び裁判管轄)

本規約は、日本法を準拠法とし、同法に基づき解釈されるものとします。また、本サービス又は本規約に関する当社又は本販売店とお客様との間の紛争は、東京地方裁判所(本庁)を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

発効日:2024年1月1日